

御発言者	種類	内容	反映先
政策2：八戸圏域の特性を活かした経済活性化			
委員	当日意見	八戸市と言えば前沖サバというイメージもあるが、養殖したもので、また新たな八戸のブランドが出来てくれば良い。	2-2
委員	当日意見	せっかく新しいこと、経済活性化の策として冷え込んだ水産業を盛り上げていこうということであれば、八戸前沖さばがとれなくなったり、いろいろと元気が無い話が聞こえてくるが、水産アカデミーの関係はもっとわかりやすいように情報発信をしてほしい。	2-2
委員	事前質問	八戸圏域宿泊者や旅行消費額などかつてコロナの影響を受けていた数字が回復している結果が拝見でき大変安心した。	2-3
委員	当日意見	今回質問の中にもパレットの大きさが違うことで、効率が悪いのではないかという話もあった。荷主ごとにパレットを扱う大きさのラックが決まっているので、例えば農家のパレットは大きく丈夫な物や、食品関係は真四角や横長など、様々な大きさがある。それらを一斉に統一させるというのは、経済産業省なども動いているが、なかなか難しい現状で、市の事業についての今後だが、現状を踏まえながら進めていければいいのかなと思う。	2-5
委員	事前質問	2024年問題で物流業界は1人の対応時間に限りがあるため、生産性を上げて対応することが求められている。その中で物流会社によってパレットの大きさや形が違うことによって発生する積み荷作業があり、余分に時間がかかっていると聞いたことがあり、物流業界の生産性向上のために、市として現時点でこういった支援を行っているのか、また、今後行っていくのか。	2-5
政策3：持続可能なより良い社会の実現			
委員	当日質問	デジタル推進室の設置のところで、積極的に効率化や取組を進めているところだが、一方で情報漏洩などが気になるところで、そうした対策はどのような形で行っているのか。	3-3
政策4：スポーツ&文化で地域と経済の活性化			
委員	事前意見	4-4の重点施策と対応事業は、事業に関わる関係者の枠を越えて特に多くの市民が注目している分野であると思うので、引き続き積極的な周知活動をお願いしたい。	4-4

御発言者	種類	内容	反映先
政策6：「子どもファースト事業」の展開			
委員	事前意見	積極的な発信を継続しながら他の自治体に劣らない魅力的な施策があることを一人でも多くの市民や移住を検討している方に届いてほしい。	6-1
委員	事前意見	マチイロアプリのほうが高齢者にとっては見やすいといったことがあるので、いつまでも高齢者には無理だから、で済ますことなく「広報はちのへ」をきっかけとして、シニア世代のデジタルリテラシー向上の取組などの検討をぜひ進めてほしいと思う。	6-1
委員	当日意見	市内小規模校での学校音楽鑑賞教室について、すごくいい取組で、小規模校にとってはすごくありがたい話だと思う。これは小規模校全校が利用できるシステムなのか。次年度以降も継続してもらえる事業なのか。また、小規模校に関しては、何かを観たいなと思っても保護者から集まるお金については結構少ないので、なかなか難しいというのもあるので、ヘルプしていただければ、小学校の子どもたちもありがたいなと思う。	6-1
委員	当日意見	児童科学館について、科学館の中の仕器を子どもたちが実際に使っているいろいろな体験をするわけだが、どうしても傷みやすいというのがあるので、リニューアルした後は継続的に修繕などの予算をみてほしい。	6-1
委員	当日意見	小・中学校整備事業について、ハード面ではいろんな修繕などあるが、校舎の塗装といった整備を盛り込んでいただければという希望がある。コンクリート打ちっぱなしではなく塗装していただきたい。	6-1
委員	当日意見	保育士修学資金貸付金事業について、5年以上の勤務で免除というのは期間が長いのかもしれない。一人でも多く東京の方に流出しないで市内で働いてほしいが、現状はなかなか厳しい。常勤で入ると短期間で返すことができる金額ではあるので、制度の改善があれば一人でも二人でも八戸に残っていただけるのではないかな。	6-2
委員	当日意見	JETプログラムで来たALTが各中学校に配属されているが、英語を教えるだけではなくて、せっかく地域にいるため、もう少し地域との関わり合いを持って、もっと密着できたらいいのではないかな。	6-3
委員	当日意見	ALTについて、以前は市内に6人ぐらいしかいない時代もあり、そういうときでも様々なイベントを手伝ってくれて非常にフレンドリーな感じがあった。各地域の中学校に配属して人数が多くなっているが、地域にいて、なかなか見えないという部分を感じているため、教えること以外にも地域との何らかの関わり、また、顔を知ってもらおうということもあっていいのではないかな。	6-3

御発言者	種類	内容	反映先
政策7：多様な市民力を地域の活力に			
委員	事前意見	Uターンは各家庭や個人の事情など、様々な要因によるきっかけがあると思うが、例えば、市外県外で培ったスキルや人脈を生かして地元八戸でいきいきと仕事が出来ている若者がひとりでも増え、その方の体験（実績）が発信されることも移住促進に大きく寄与するのではないか。	7-1
委員	当日意見	仕事内容、それも最近は仕事内容が非常にバラエティーに富んでいるところもあり、学生はそうしたところで仕事（イベント企画などの新しい仕事）を見ているということがあるため、一般的な企業ではなく、冊子に新しい形での企業というものを是非入れた方が、地元にもそういう仕事があるんだということが分かって定着につながるのではないか。	7-2
委員	当日意見	いわゆる「働き方」というものが昔に比べて幅広くなってきていて、例えば東京の方の企業であっても八戸にいて仕事ができるという選択肢も中には出てきていて、そうであれば仕事自体は東京の企業であっても、八戸に住みながら働けるといった選択肢も学生の方では考えていたいというような形になってきている。こうした地元で定着を図る形を考える場合に、いろんな働き方を紹介すると良いと思う。	7-2
委員	事前意見	まちの魅力創生ネットワーク会議について、この会議の内容をぜひ発信強化していただくとともに、市の施策としてはもちろんのこと市民活動団体をはじめとする各分野の活動とリンクさせて、市民参加型の提言実現にも取り組んでほしい。	7-3
政策8：暮らしやすく人に優しいまちづくり			
委員	当日意見	市営バスはやはり市民の大切な移動手段であるため、運転手を確保するという意味では、民間のバス会社との人材確保の競争となる。民間の方の動き（募集内容）などを見ながら検討して、良い事業に展開できるようにお願いをしたい。	8-1
委員	追加意見	町内会の活動について、直接活動に参加出来ない人にとっては町内会の活動や取組を紙媒体でしか知ることが出来なかったのが、公民館サロンの取組を含め、町内会の活動について、動画としての見える化を検討する必要がある。	8-4
委員	事前意見	「八戸市連合町内会活動活性化交付金」の始動と公民館サロンを掛け合わせることで、より多くの町内会が抱えている課題解決に向けた活動が展開されるようになって欲しいと思うとともに、交付金に係る市から町内会へのフォローアップ強化をぜひお願いしたい。	8-4